

「聖和1周年特別50日精誠の主役となろう」

先日、興進様・大母様を10年ぶりに京都教会にお迎えすることが出来ました。天の父母様は京都に関心をもたれ、基元節を迎えて摂理的にもサタン主管圏であった罪悪世界が終わり、神様を中心とした創造本然の時代が発射していく転換点において、一千年間の主権をもっていた京都の地が天の主権に連結されていくべきであります。お母様が願われる2020年までに具体的に南北統一と日本の国家復帰を成就していく為に、この度天は摂理的にも京都の地に興進様と大母様を送って下さったことを感じております。大母様は“京都はこれから発展する”と語って下さり、霊的にも整理して下さいました。

京都に来られる前に名古屋で大会がありました。大母様は、前日の夜に名古屋へ到着され、その夜は名古屋大会に向けて祈祷の精誠を捧げておられました。途中から京都の祈りに変わったそうです。そこにお父様からのメッセージもありました。清平では、聖和一周年までの100日間を迎えるにあたって、全ての職員が聖地祈祷をしていく出発の日に、お父様は“祈祷の精誠だけではいけない。活動の精誠を尽くさない。復興会を行ない、地域に出て行って伝道をしなさい”と指示をされました。その話を大母様がされながら、お父様が京都に対しても“この地域も精誠を尽くさない。21日間の精誠と活動期間を与えなさい”と大母様を通して指示をされたのであります。

お父様は、清平の職員に21日間の伝道精誠期間の指示をされたように、京都教区においても7月11日から31日までの21日間を特別に祈祷と活動の精誠期間が与えられました。そして聖和1周年特別50日路程の期間が8月21日まででありますので、2回に亘る21日間は全食口が精誠を捧げていく重要な期間であります。大母様は、京都の地を霊的に整理し投入して下さいました。伝道活動をすることによって京都の霊的背景が美しくなっていきます。我々が立ち上がって活動の精誠を捧げていき、大母様を通してお父様から頂いたみ言と一つになり、聖和1周年を迎える50日精誠期間の主役となつて、一人一人が峠を越えていく主人となつていきましょう。

天の父母様と天地人真の父母様と一体となれば、驚くべき奇跡が起こっていきます。目的と方向と事情圏を一致していくことが重要です。そうさせないとする強い霊界を整理して、美しい霊的環境に再創造していく為に与えられた聖和1周年までの2度に亘る21日間の中で、活動を通して天に親孝行を捧げて参りましょう。精誠を捧げて歩んでいけば不可能なことはありません。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
 皆様と真の御父母様の祝福が共にありますよう。お祈り致します

- 1、お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
- 2、2013年伝道勝利のための「第3次50日路程」が行われています。
 期間：2013年7月2日(火)～8月20日(火)【50日間】
 スローガン：「新氏族メシヤ活動の定着と爆発的伝道」
- 3、真の父母様聖和一周年記念100日精誠祈禱会が行われています。
 期間：天曆4/7～7/17(陽曆5/16～8/23) 21:00～22:30
- 4、伝道3日路程が行なわれました。
 7月16日(火)～18日(木)
 結果：1位 京都、2位 北都、3位 伏見
- 6、京都教区祝福式
 日時：7月21日(日) 14:00～ 場所：京都教会
- 7、日本文化講演会
 日時：7月24日(水) 10:30～
 場所：サン・アカデミー京都
- 8、第9地区「二世祝福父母セミナー」
 日時：7月27日(土) 10:30～14:40
 場所：大阪教会 参加対象：高校生以上の祝福子女を持つ父母
- 9、カップルセミナー
 日時：7月28日(日) 10:30～16:00
 場所：ホテル京都エミナース
- 10、女性のための理想家庭講座
 日時：7月29日(月) 10:30～15:00
 場所：京都教会
- 11、京都を愛する書写の会
 日時：7月30日(火) 10:30～ 場所：京都教会
- 12、「真のお父様聖和1周年追慕礼拝」(仮称)行事と「清平大役事」
 【日程】 Aパターン：8月22日(木)～8月24日
 Bパターン：8月22日(木)～8月25日 又は26日帰国
 ※ Bパターンは、「真のお父様聖和1周年追慕礼拝」終了後から「清平大役事」のスケジュールになります。
- 13、京都セミナー(二日修練会)
 日程：7月27日(土)・28日(日)
 場所：サン・アカデミー京都
 【1日目】13:30～20:00(13:00受付)
 【2日目】10:00～16:00(9:30受付)
- 14、しあわせ講演会
 毎週金曜日 10:30～、14:00～ 場所：サン・アカデミー京都
- 15、教区全体特別精誠祈禱会
 毎週金曜日 21:00～
- 16、神様摂理史の責任分担解放圏完成宣布教育
 日程：8/9(金)午後4時～8/13(火)正午
- 17、清平修練会
 7/26(金)～7/28(日)、8/3(土)～8/5(月)

【年頭標語】

天地人真の父母勝利解放完成時代

天地人真の父母勝利解放完成時代



京都教会

Holy Spirit Association For Unification
 of World Christianity Kyoto Church
 世界基督教統一神霊協会

教区長：武藤 努 牧師

京都市右京区西院西高田町6

Tel : 075-313-0539 / Fax : 075-325-2712

E-mail : son_e2013@angel.ocn.ne.jp

京都HP : http://www.uckyo.org/

式次第



執礼者：佐々木大作伝道教育部長
司会者：浅平望

開 会	司会者
黙 禱	全 体
※開会讃頌 聖歌 2 番	全 体
※敬 拝	全 体
※家庭盟誓	全 体
代表祈祷	
讃 頌	聖歌隊
み言訓読	全 体
説 教	真の父母様との心情圏一致	
※讃 頌 聖歌 49 番	全 体
※祝 禱	伝道教育部長
※全体祈祷	全 体
教会音信	司会者
閉 会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

「ある人に、ふたりのむすこがあった。… 弟は自分のものを全部とりまとめて遠い所へ行き、そこで放蕩に身を持ちくずして財産を使い果たした。何もかも浪費してしまったのち、その地方にひどいききんがあったので、彼は食べることに窮しはじめた。… 彼は、豚の食べるいなご豆で腹を満たしたいと思うほどであったが、何もくれる人はなかった。そこで彼は本心に立ちかえって言った、『父のところには食物のあり余っている雇人が大ぜいいるのに、わたしはここで飢えて死のうとしている。… そこで立って、父のところへ出かけた。まだ遠く離れていたのに、父は彼をみとめ、哀れに思って走り寄り、その首をだいて接吻した。むすこは父に言った、『父よ、わたしは天に対しても、あなたにむかっても、罪を犯しました。もうあなたのむすこと呼ばれる資格はありません』。しかし父は僕たちに言いつけた、『さあ、早く、最上の着物を出してきてこの子に着せ、指輪を手にはめ、はきものを足にはかせなさい。また、肥えた子牛を引いてきてほふりなさい。食べて楽しむのではないか。このむすこが死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったのだから』。ところが、兄は畑にいたが、音楽や踊りの音が聞えたので、ひとりの僕を呼んで、『いったい、これは何事なのか』と尋ねた。僕は答えた、『あなたのご兄弟がお帰りにになりました。無事に迎えたというので、父上が肥えた子牛をほふらせなされたのです』。兄は父にむかって言った、『わたしは何か年もあなたに仕えて、一度でもあなたの言いつけにそむいたことはなかったのに、友だちと楽しむために子やぎ一匹も下さったことはありません。それなのに、遊女どもと一緒にあって、あなたの身代を食いつぶしたこのあなたの子が帰ってくると、そのために肥えた子牛をほふりなさいました』。すると父は言った、『子よ、あなたはいつもわたしと一緒にいるし、またわたしのものは全部あなたのものだ。しかし、このあなたの弟は、死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったのだから、喜び祝うのはあたりまえである』。(ルカによる福音書15/11～32)

長子権を復帰するには、真の父母様と心情圏が一つにならなければなりません。そうでなければ、長子権復帰の立場に行けないのです。長子権が復帰された立場だとしても、真の父母様と心情が一致しなければ、氏族的メシヤの位置に行けません。真の父母様との心情の一致です。真の父母様と心情圏が一致すれば墮落しないので、そこには神様が縦的に介在するのです。(氏族的メシヤと天一国創建)

統一運動

家庭力アップ講座 理想家庭をつくることは「神のみ旨」

理想家庭をつくるために KMS「eラーニング」(家庭教育局)で展開されている多田聡夫家庭教育部長による「家庭力アップ講座」の内容を整理して連載します。後天時代における理想家庭実現に向けた具体的な講座です。

■真の愛情に包まれた家庭環境を整える

「統一原理」は、理想家庭をつくるために重要な内容です。先天時代における「個人の信仰」を育むための原理観から、基元節以降は「家庭信仰」として実践する原理として、理解を深める必要があります。

キリスト教では岩の上に教会を建てました(マタイ16/18)。その「岩」とは個人の信仰告白が基盤でした。現代の「岩」とは家庭に根付くべき信仰と愛のことです。家庭を基盤とする信仰と愛の上に教会が立たなければなりません。また、「信仰は愛を育てるための刺激」として、信仰を通して家庭での愛を育む必要があります。家庭に愛があふれて、初めて理想家庭になるのです。

「神のみ旨」とは、理想家庭を作ることです。そして、神の下で人類一家族世界を作ることです。自分の家庭を理想家庭として作り上げ、その上に氏族的メシヤの勝利があり、天一国建設の出発となります。

夫婦でお茶を飲みながら家族について話し合うことも、「おまえ、最近美しくなったね」、「あなたが愛してくれるからよ」というようなろけ話も、実は「神のみ旨」なのです。このみ旨を忘れて生きていくことはできません。

親子関係において、親は子供の「やる気」と「思いやり」、「感謝の心」が育つような、真の愛情に包まれた教育環境を整えることが大切です。

そのためには、親自身が「やる気」と「思いやり」、「感謝の心」をもつ人にならなければなりません。親がそうでないのに、子供には、やる気があり、思いやりと感謝の心をもつようになることは難しいのです。

次の4つの観点が重要です。
①親の愛が子供に届く、
②子供が育つ環境を作る、
③親が目的に向かって成長する、
④家庭のゴールを明確にする。内的には、「感謝の心情」と「共感する姿勢」の2つが重要になります。

